



openGion 機能紹介

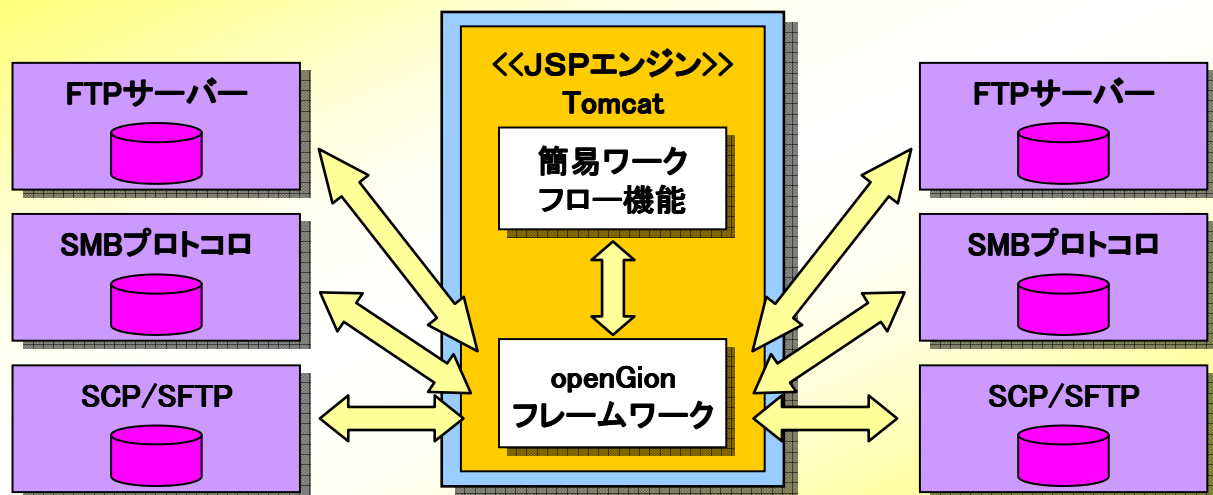
ファイル伝送機能 Ver1.0

FTP、SMB、SCPなどをシームレスに連携

業務システムを開発するに当たり、各種OS間でのファイルの伝送や、レガシーシステムなどの異種システム間でファイルのやり取りが発生する場合があります。また、他社のシステムとの連携などで、セキュアな通信が必要なケースもあります。openGion では、FTP、SMB、SCP、SFTPなどのプロトコルをシームレスにファイルの伝送を行う機能を提供します。

- 送り元、送り先のプロトコルが混在しても、伝送可能
- OS間の差異(改行コード、文字エンコード)も、指定可能
- バッチモジュールへの組込みにより、大量データも、伝送可能

各種OSやプロトコルの異なるファイルを相互に伝送します



- 送り元と送り先に別々のプロトコルを指定できる
 - ファイルの読取とファイルの書き込みは独立した設計のため、相互伝送が可能
 - プロトコルの指定は、ファイルアドレスで指定可能(FTP://、SMB://、SCP:// など)
 - 階層フォルダを作成しながらコピーする機能を用意
- OS間での改行コードの違いや、文字のエンコードの違いを吸収できる
 - OS間で異なる、テキストファイルの改行コードを指定できる
 - OS間で異なる、テキストファイルの文字エンコードを指定できる
 - バイナリ転送時には、現ファイルそのままの形で転送できる
- バッチモジュールで、大量ファイルの一括転送が可能
 - 単独のファイル伝送だけではなく、大量のファイル伝送(例えばフォルダごと)が可能
 - バッチモジュールを組み合わせることで、各種処理と連動させることが出来る
 - バッチモジュールのログ出力やエラー時警告メールなどの機能も利用できる
- SCPやSFTPでは、公開キー暗号化方式での伝送にも対応
 - 通常のユーザー名、パスワードでの認証が可能
 - 公開キー暗号化方式での認証が可能

ファイル伝送機能 Ver1.0

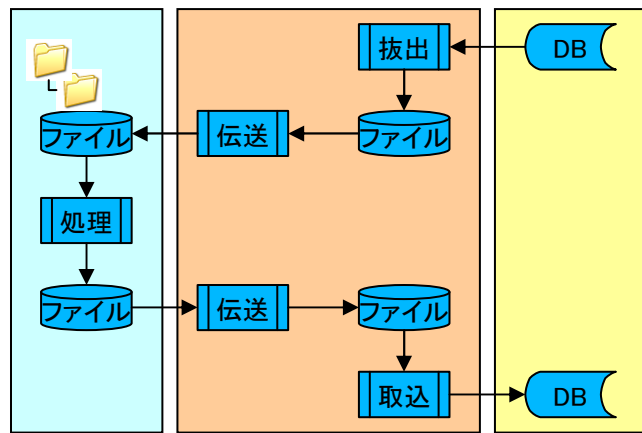
シームレス

ルート/パス ¥¥****、/****、C:¥****
改行コード CRLF、CR ...
エンコード S-JIS、EUC-JIS、UTF-8 ...
プロトコル FTP、SMB、SCP、SFTP ...
暗号化 SSL、...
認証方式 パスワード、公開キー

ファイルのやり取りは、各種OSの違い、プロトコルの違い、改行コードの違いや、文字のエンコードの違いまで考慮する必要があります。さらに、暗号化や認証方式など、各種方式が存在します。このようなファイルの伝送に関して、シームレスにやり取りできる機能を提供します。

拡張性

この機能は、単体で動作させることも可能ですが、バッチJOB実行と組み合わせることで、大量ファイルの伝送や、データ抜き出し、データ取込などの処理と連携することが可能になります。また、送付先ディレクトリを作成しながら送信する機能も、標準で備えています。



拡張性

FTPサーバー
ftp://xxxx/yyyy

Windows
C:¥¥xxxx¥yyyy

SMBプロトコル
smb://xxxx/yyyy

Linux
/xxxx/yyyy

SCP/SFTP
sftp://xxxx/yyyy

共有フォルダ
¥¥server¥xx¥yy

ファイル伝送のプロトコルの指定方法は、URIに記述する方式です。よって、異なるプロトコルのファイルを、同じような形式で、かつ、送信元、送信先、それぞれ指定することが可能になります。

動作環境

◆ サーバー

- CPU : Xeon 2.0GHz以上(推奨)
- メモリー : 2048MB以上(推奨)
- HDD : 120GB以上(推奨)
- OS : Windows 2003/2008 Server
- DB : ORACLE 10g/11g
- その他 : J2SE 1.6 / tomcat 6.0

◆ クライアント

- CPU : PentiumM 1GHz以上(推奨)
- メモリー : 512MB以上(推奨)
- OS : WindowsXP以上
- Webブラウザ : IE7.0以上
- その他 : 画面解像度 1024×768以上

※ Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。
※ その他の記載の商品名は一般に各社の商標、または登録商標です。
※ 記載の内容は将来予告なく変更されることがあります。